



笑顔

明るく・楽しく・元気よく 笑顔でつながる川島小

各務原市立川島小学校だより

令和8年1月30日 第10号

みんなでつくる楽しい授業



6年生 防災教室



1年生 糸車体験

1月が終わろうとしています。今年度学校に登校する日は、2・3月で36日間となり、残る日にちも少なくなってきました。令和7年度の締めくくりに向けて各学年・学級でもいろいろな取組を始めています。5年生が中心となって「6年生感謝の会」の準備も始まりました。6年生は「卒業式」に向けて、卒業合唱の練習に力を入れています。子どもたちは、最後の締めくくりに向けて動き始めています。

2月の生活目標は、「自慢できる楽しい授業を、みんなで作り上げよう！」です。この目標に向かって、子どもたちの「こんな自分に、こんな学級・学年にしたい！」を引き出しながら、学習に力を入れて取り組みます。

川島小の教職員は、子どもたちが自ら学び続けるための授業づくりに取り組んできました。毎月の会議で各学年の授業実践を交流し、子どもたちの学ぶ姿を高めるために、私たち教職員の日頃の支援のあり方について学び、日頃の授業に生かしています。また、子どもたちの意欲を高め、学びを広げるために、専門家を招いて学ぶ「出前授業」も数多く実施してきました。川島小の子どもたちは、「興味」「関心」が高まると素晴らしい力を発揮する傾向にあるからです。

1月は、3年生での「河跡湖探検」、4～6年生での「防災教室」、1年生での「糸車体験」、5年生での「心のバリアフリー講演会」、2年生での「電子図書館授業」などを行い、子どもたちのきらきらしたまなざし、体がだんだん前のめりになっていく姿に、意欲の高まりを感じました。

2月は、2年生での「音楽コンサート」、3・4年生での「かわしまピースフル」最終回、4年生での「絵絹講座」、5年生での「愛のとしび講座」（元南三陸町副町長さんから東日本大震災を学ぶ）、ともだちルームでの「紙飛行機教室」などの専門家を招く機会や、1年生と年長の皆さんとの「新1年交流会」など、いろいろな方とかかわる活動を予定しています。

学校の授業は、自分一人ではなく、仲間や先生などいろいろな人と関わり合いながら一緒に学習することと、自分の学びを更新していったり、新しい考えに出会ったりする時間でもあります。一年間、共に生活してきた仲間と一緒に、自慢できるような授業をこの2月に作り上げてほしいと願っています。

2月20日（金）は、今年度最後の授業参観です。それぞれの学級で、子どもたちの一年間の成長が感じられるような時間になると思います。ぜひ、ご参観いただき、お子さんの一年間の成長を感じてください。そして、子どもたちのがんばりをたくさんほめて価値付けてあげてください。きっと次に向かうエネルギーとなり、子どもたちの成長に対する大きな支えとなることでしょう。

◇2月の行事予定

日	曜	行事
1	日	
2	月	学校保健安全委員会 ともだち個人懇談(～13日)
3	火	5・6年みんな大好き自分と川島！⑤ ⑥
4	水	5年愛のとしび授業 【そうじあり日課】
5	木	ともだち紙飛行機教室②③ クラブ
6	金	かわまるタイム かわしまピースフル ①②3年 ③④4年 家庭学習強化週間(～12日)
7	土	
8	日	
9	月	入学説明会・新1年生交流会
10	火	
11	水	建国記念の日
12	木	委員会 3年らら教室(最終)
13	金	2年放課後子ども教室 かわまるタイム
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	はるヘジャンプ！がんばる2年生コンサート
18	水	1年情報モラル
19	木	クラブ(最終)
20	金	授業参観⑤・学級懇談会
21	土	新通学班編成会議(校外生活指導委員)
22	日	
23	月	天皇誕生日
24	火	心のアンケート 教育相談
25	水	スーパーおはよう日 2年情報モラル
26	木	
27	金	ボランティア表彰式 かわまるタイム
28	土	

◇3月の主な行事予定

4日(水) 6年生感謝の会①②
 5日(木) 委員会(最終)
 6日(金) かわまるタイム
 川島中学校卒業式
 9日(月) 新通学班会⑤
 12日(木) ワックスがけⅠ
 13日(金) ワックスがけⅡ
 18日(水) スーパーおはよう日
 卒業式総練習Ⅰ③④
 20日(金) 春分の日
 24日(火) お別れ式①
 卒業式総練習Ⅱ③④
 5年卒業式準備⑤
 *4時間授業(1～4年)
 *給食最終日
 25日(水) 卒業証書授与式
 26日(木) 修了式・離任式
 27日(金)～学年末休業日・年度始め休業日
 (3/27～4/6)
 *4月7日(火):始業式・入学式

ボランティア手帳 50回達成

ボランティア手帳の取組が行われています。1冊のボランティア手帳は、ボランティア記録50回でいっぱいになります。

手帳を終えることが目的ではありませんが、この手帳に、「誰かのために、自分から進んで動いた記録」が残されることは、子どもたちのかけがえのない宝物となります。

ボランティアは、した側もされた側も心が温かくなります。そして、子どもたちは周りの人と繋がって成長していきます。

手帳の記録を見返す時、人を喜ばせることができた記憶と共に、「ありがとう」の言葉や笑顔があふれることを願っています。